

# 第1回こどもの権利推進リーダー会議の実施結果について

実施日 令和8年3月13日(金) 18時から19時30分まで  
会場 文京区民センター 3-A会議室

## 1 参加者

こどもの権利推進リーダーとして、32人の中高生が参加した。参加者の内訳は次のとおり。

	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生	高校1年生	高校2年生	合計
人数	1人	1人	5人	9人	11	5	32人
割合	3.1%	3.1%	15.6%	28.2%	34.4%	15.6%	100.0%



## 2 内容

- (1) 特別講演 「文京区こどもの権利に関する条例をどのように活かすか」  
東洋大学名誉教授 森田 明美氏
- (2) 意見交換 1テーブル6人程度で6グループに分かれて、意見交換を行った。  
テーマ 特別講演の感想、考えたこと

## 3 当日の様子

参加者は、特別講演を熱心に聴き、付せんにとたくさんの意見を書き出していた。意見交換にも積極的に参加し、明るい笑顔も見られた。



### リーダーの掟 (会議でのルールとマナー)

- 一つ 恥ずかしがらず、積極的に意見を言おう  
何を話しても間違いなんてない。まとまらなくてもOK
  - 一つ 他の人の意見は、さえぎらず、否定せず、しっかりと聴こう  
ものの見方、考え方はひとそれぞれ、自分と違うものこそ尊いものです。
  - 一つ ここで聞いたことは、ここだけの秘密にする  
相手の個人的なことはむやみに聞かない。ほかで話さない。
- ルールとマナーを守り、みんなで実りのある、楽しい会議にしましょう！

## 4 参加者の意見

### 特別講演の感想、考えたこと

- 1 昔と違って、最近では子どもを大切にする条例や声明があって、その取り組みを続けるには、子どもが自分達の視点で頑張る必要があると思った。
- 2 子どもの権利条約は、多くの人にもっと理解されるべき。
- 3 子ども基本法は割と最近できたものなんだと知れた。
- 4 子どもの権利について知っている人が少ない。
- 5 1人1人が差別されることなく、素でいられるような環境をつくるのが大切
- 6 こどもの権利については、正直全然知らなかった。大人も子どももまだ知らない人が多いから、知ってくれる人が少しでも増えてほしい。どうしたら知ってもらえる人が増えるかを考えて、実際に行動していきたいと思った。
- 7 森田教授の特別講演  
・子供は未来であるだけでなく、いまを生きている。  
→子供は大人と一緒に人間であるため、子供だから「～」のへんけんをなくす必要性を改めて感じた。
- 8 子供たちが権利について認識するだけでなく大人も知ることが大事ということに納得した。
- 9 日本は先進国といわれるような国で、教育においても労働においても比較的恵まれていると思う。子どもの権利条約の批准が遅かったのは、恵まれているが故に急を要していなかったからなのか、単純に権利の面で遅れているのか。

10	今日聞いたことがあまり世の中(?)に浸とうしてないと思った。
11	全ての子どもたちが権利を主張できるようになってほしいと思った。
12	子どもの意見を理解しようとするしせいが重要なんじゃないかと思った。
13	まず、この権利について理解を深めることにより、様々な子どもに知ってもらい、自分で困っていることなどをかかえこんでいる子ども達を助けていけるのではと感じた。
14	もっとこの子どもの権利条例を広報していき、みんなに知れわたるようにしていきたいと思った。
15	最初からあったんじゃなくて途中から少しずつできてきたということが凄いなと思った。
16	子どもの権利について元々興味があったので、講演を聞いてよく知ることができた。
17	「子ども」が18歳未満の人だということを初めて知った。
18	学校ではいじめに対してあまり大事じゃないと「我慢しなさい」で終わってたけど、これではそういう感じ(?)じゃなくて最善の利益を考えてくれるのが良
19	子どもの意見は大人から無視されたり、真面目に受け取ってもらえなかったりすることが多いため、条例により対等に意見交換ができるようにするのは大切。
20	他の区ではきちんとした条例が定められていなかったり、日本の取り組みが世界から注目されていたりすることを知って、改めて、今回の子どもの声を届ける、という機会の貴重さを感じました。また、条例ができた今、これをしっかり理解し広めていくことが、求められていると思いました。
21	自分の住んでいる地域には、子どもの権利条例があるのかどうか分からないが、子どもの権利条例があるからこそ住みやすい地域づくりになるのかなと思った。
22	前から国の取り決めがあるのに条例をつくるのは何故なのか分からなかったから、今回それによって人々に行き渡りやすくなるということが知れてよかった。
23	大人の事情と子供の事情を分かった上で知ってもらえることができるのでは？
24	子どもの権利条約がまだあまりメジャーになっていないことにおどろいた。
25	アイデアを思い付いても、それが条例になるまでは時間がかかる。
26	条例を作るには様々な順番や、手順があると初めて知りました。
27	こどもの意見も大事だなと思いました。
28	どんな内容の条例があるのか知らなかった。大人も子どもも関係なく広まるにはどうしたら良いのか。
29	子どもの「自由」や「可能性」を見てもらえる、尊重してもらえるような環境を広めていきたい。
30	他の地域でも条例をつくり、広まっていくようになると良いと思った。
31	子どもに関する条例によって、私たちの意見が尊重してくれる社会になってほしいと思った。
32	子どもも大人も、すべての人が「子どもの権利」についての正しいこと・内容・私たちの思いなどを知ってほしいと思った。
33	私たち子どもが参加できる権利についての条例が文京区にはできたから、大人たちに手助けをしてもらいながら、未来の子どもたちのためにも、私たちがどんどん意見を言っていきたい。
34	条例の前文を作ったけれど、具体的にどんな役割を果たしていたのか知ることができてよかった。
35	日本が、子どもの権利を批准することで教育や男女差の問題の解決にもつながっていたと知り、多方面の問題解決が今後も望めるなと思った
36	国連の支金不足によって会議が開けないことはとても深刻な問題だと思いました
37	アメリカが批准していなかったことに驚いた。
38	大人が子どもの権利についてまったく知らないことはありえないと思う。
39	文京区が先立って行っているこの活動が広まってほしい。
40	守られるべきこどもの権利がある一方で大人にはどのように捉えられているのか気になった
41	以前「子どもは社会で守られるべき存在」と聞いたことがあり、条例はその具体的なかたちとなったものではないかと感じた
42	条例を作るのにあたって子どもと一緒に参加するのは“子どもの条例”であるから大切なことで、それが実現できているのがすごいことだと思う
43	権利の条例をひろめることが大変ということがわかった。

44	子どもの権利の内容をはじめて知った。
45	子どもの権利は世界中でどのように知られているのかを知りたい！
46	子どもの権利条約を批准してから公布などをするまでにたくさん時間がかかっていてびっくりした。
47	子どもの権利を広められるようにするためにはどういう取り組みをしていけば良いのか、これからは考えていきたい！
48	条約に批准するには、国内法の整備が優先
49	こどもの権利に関する法律が施行されることで、行政機関が主体的に取り組むことが可能となる また、新たな所管庁の設置によって合理的に施策を推進できる
50	意外に子供の権利が普及していないことが分かった
51	「子供の権利」なのに意外に子供たちの意見が反映されていないことが分かった
52	“こどもにやさしいまち”の具体的なイメージが自分の中になかったので、考えてみたい。
53	1994年に批准された条約だけでなく地域ごとに条例をつくる方がやはり、より実践的な支援につながるから各々つくることに納得した
54	“今”を生きると“未来”を生きるではどのような解釈の違いがあるのか気になった
55	アメリカ、国連常任理事国なのに、子どもの権利条約入ってないんだ
56	当事者である私達が参加する理由について知るとともに考えさせられた。
57	抽象的な内容(「子どもにとって最もよいこと」など)が多いけれど、大切だと改めて感じた。
58	子ども権利条約から子ども基本法が作られたから19年もそんなに長い間かかったのか。
59	子どもである、私たちが参加できる場所などを増やしてほしいと感じた
60	子どもより大人の方が子ども権利条約を知らない人がいるんだとおどろいた
61	子どもの継続的な参加が重要だとあったので、文京区のように他の区もこのような取り組みを行っていくべきだと感じた。
62	大人にも「子どもの権利」について知ってもらう必要があるなと感じた。
63	子どもの権利条約を“知る”だけでなく、考えたり、積極的に行動していく大切さを学んだ。
64	大人の人でも「自分が若いころは」といって昔みたいな考え方をせず今行われていることを知ったほうが良いと思った。今はあまり子どもが社会を動かす力がないから大人の人に協力してもらいたい。
65	“子どもの権利条例”を子どもに身近な大人達にぜひもっと知ってほしい！
66	「子どもの権利」は条例で定めている自治体が少なかったりすることから、世間に知られているようで知られていないものだと思った。
67	条約の普及においては、SNSでの動画などがわかりやすく、有効的だと考えた。
68	一番子どもの権利条例で影響するのは教育の場のような気がする。 条例が整ったら教育委員会にかけあうのも手かも？
69	大人にも子どもの権利の条例を伝えるべきだと思ったし、子どもも自分の意見を守るために子どもの権利について知っていき子どもが主体となり大人たちに伝えていったら良いと思う。